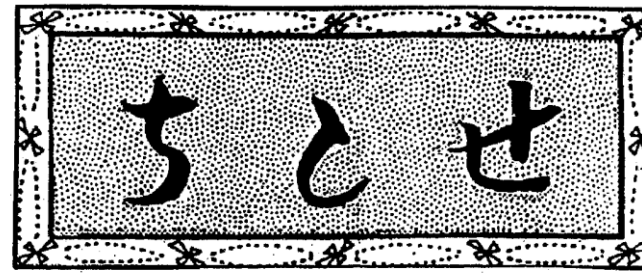


発行・編集 ミニコミ「ちとせ」編集委員会  
責任者 松園 伸子  
事務局 船橋まちづくりセンター  
電話 3482-0341  
2021.11 No.121



まちの目が  
安全・安心を守っています  
船橋地区町会・自治会連合会  
船橋地区身近なまちづくり協議会  
青少年船橋地区委員会/成城警察署/成城消防団



▲ミニコミ紙は世田谷区のホームページから  
もご覧になれます。二次元コード  
または、区 HP 内、[ミニコミ 船橋](#)で検索

# 「多世代が交流する 笑顔あふれるまちへ」

## 秋の喜多見路 けいげんじ 慶元寺を楽しんだ「歩こう会」



10月9日(土)、船橋地区身近なまちづくり推進協議会主催の「歩こう会～秋の喜多見の見どころを歩いて巡ろう」が実施されました。「歩こう会」は3年ぶりです。

千歳船橋駅に集合し、喜多見駅から区内最古の鳥居がある氷川神社へ。静寂な竹林に参加者の歓声が上がりました。慶元寺では三重塔の相輪が金色に輝き「まるで京都か奈良のよう」という声も。江戸城を作った江戸氏の墓所、古墳を経由して、古民家を移築した次大夫堀公園へ。尺八演奏や藍染めの作業を見学。喜多見の風情を存分に楽しむ一日でした。



▲ 慶元寺の立派な伽藍に驚く参加者

## はやし 「船橋流の囃子」 おおくにたま 一府中・大國魂神社にも残る伝統の響き

船橋囃子保存会会長・池田博樹さんに聞く

スットコントン・トントントン、祭りの雰囲気高めのお囃子の音。「船橋流」をご存知ですか？  
船橋村の内海軍次郎という名人が始めた流派で、多くの地に広まりました。船橋囃子保存会会長の池田博樹さんに伺いました。

——船橋囃子の起源は？

内海軍次郎は、明治初年ごろ当時世田谷で囃子の祖と言われた大場増五郎から教わり、「早間(はやま)」と呼ぶテンポの早い囃子に緩急を付けましたが、人気を博し、大評判になったそうです。「師調目(しちょうめ)」や「鎌倉」という曲をアレンジして、いわゆる「船橋流」を確立しました。

——船橋流はどのように周辺に広まったのですか？

軍次郎を慕って近在から多くの人が集まり、また自ら各地を巡って、船橋流を広めました。府中や調布、青梅、さらに立川や八王子へと伝わっていきました。例えば府中の大國魂神社では、お囃子の山車(だし)に「船橋流」と書かれた提灯(ちょうちん)が掲げられています。また青梅の藤若囃子連では、軍次郎が大正7年早春に2週間に渡って指導したとの記録があるそうです。

——めぐりさわ 廻澤囃子など近隣のお囃子連との交流は？

千歳台の廻澤囃子は、明治中期に軍次郎から教えを受けて生まれ、戦後も途切れずに1959年に保存会を結成し、船橋流を継承してきています。船橋囃子は1970年代に自然消滅したために、1995年に船橋囃子保存会として再出発しましたが、元の船橋流の一部が不明になっていました。船橋、廻澤、烏山、給田、上祖師谷の囃子連は、祭りなどで互いに演奏し、年1回合同練習会を開いて、教え合っています。船橋ふれあいまつりで廻澤囃子の演奏を聞いた方も多いでしょう。

——船橋囃子の活動は？

船橋神明神社の例大祭、年越し祭り、あおばまつり、船橋小学校での囃子教室、区の郷土芸能大会(二次元コードから YouTube 閲覧可)、区民まつりなどで演奏してきました。日頃の練習を船橋神明神社で行っていましたが、コロナ禍でほとんどできなくなりました。

会員は、現在17名(大学生2名を含む)ですが、後継者不足が悩みです。どうぞ応援をお願いします。



▲郷土芸能大会(2019年)

## パネル展示 中学生が英語で紹介する 「世田谷の歩き方」



船橋希望中学校の2年生が作った「世田谷の歩き方」という英語のパンフレットが、海を越えてアメリカの高校に届けられることになりました。

世田谷区がオリンピック・パラリンピックに出場するアメリカ選手団のホストタウンになったことがきっかけとなり、総合学習の時間を使って制作。調べ学習や現地での写真撮影には、世田谷区から配備されたタブレット端末を活用しました。

オリパラ会場となった馬事公苑の最寄り駅でもある「千歳船橋駅」周辺をはじめ、もっと地元のことを知ってほしいと、自分たちのおすすめスポットを紹介。クラスごとに取りまとめられたパンフレットは選手の宿舎に届けられ、コロナ禍で外出もままならなかった選手たちを和ませていたとのこと。

パンフレットの評判はとても良く、一部は選手が持ち帰ったとのこと。「せたがや国際交流センター(キャロットタワー2階)」で11月14日まで展示された後、日本語の勉強が盛んなバージニア州アーリントン郡の高校に送られることになっています。



▲ キャロットタワーでの展示を見る人たち

## よかったね！運動会、開催 千歳台小学校・希望丘小学校



◀ 1年生も気持ちを合わせて。  
10月16日(土)千歳台小学校にて

6年生の綱引きは、大迫力。  
10月23日(土)希望丘小学校で ▶



▲ 次大夫堀古民家での囃子教室(2011年)



▲ 神輿(みこし)に随行する山車(だし)での演奏

## 地区の行事予定

日付	内容	会場	備考
11月	知床まつり物産展	千歳船橋駅前広場	中止
11/26(金)	健康講座 体操・体力測定	船橋まちづくりセンター	2日間とも
12/3(金)	(船橋地区身近なまちづくり推進協議会)	活動フロア1	同一の内容
12/11(土)	船橋希望中学校 開校10周年記念式典	船橋希望中学校	おめでとう ございます!
12/16(木)	千歳丘高校防災訓練 (参加:船橋会、日赤奉仕団船橋分団)	千歳丘高校	
2/22(火)	さぎ草植え込み講習会 (船橋地区身近なまちづくり推進協議会)	船橋まちづくりセンター 活動フロア1	
2/26(土)	船橋希望中避難所運営訓練 (参加:希望ヶ丘団地自治会、船橋4丁目住宅自治会、船橋会、船橋希望中学校PTA等)	船橋希望中学校	

船橋地区ごみ減量・リサイクル推進委員会  
ふれあい船橋リサイクルの会

### 冷たい雨の中、古着・古布回収実施

10月17日(日)朝9時から、船橋まちづくりセンター管内の6か所の会場で古着・古布回収が実施されました。春の回収が感染防止のため急遽中止になったこともあり、1人あたりの持ち込み量は多めのよう。集められた古着・古布は再利用されます。「台風などで予め中止になった他は、古着・古布回収始まって以来の雨降り」と担当の方。3時間も作業をしてくださった委員、町会・自治会、区の応援職員の皆さん、お疲れ様でした。次回は来年5月の予定。



▲レインコート姿で車に衣類を積み込む委員

### 「ネット公園」11月で閉鎖

昭和48年から土地をお借りして48年間遊び場として親しまれてきた「船橋3-12遊び場」(船橋地区会館近くのフェンスに囲まれたところ)は、土地所有者への返還が決まったことから11月中旬に閉鎖されます。

【編集後記】  
▼どの町会・自治会でも、会員の確保が課題です。回覧板や掲示板で活動をお知らせし、会員募集をしています。増加につながらないのが悩みのタネ。▼希望ヶ丘団地での「ミニコミ紙」の配布についてですが、従来、各棟ごとにエレベーター前の掲示板に50部程ずつ入った箱をかけて、持ち帰っていただく方式でした。今年度より、柏倉自治会長のご配慮で、全戸(約1800戸)の玄関ポストに配布することになりました。▼ある日、自治会事務所へ「ミニコミ紙」を見たという方が現れ「ぜひ自治会に入りたい」と一年分の自治会費の前払いを申し出られました。当日は担当者が不在だったので手続きができませんでした。当日は担当者と、「日を改めてまた来ます」とのこと。そして、後日、無事入会されました。▼「ミニコミ紙」が地域の身近な情報紙として、役立っていることは大変意義深く、編集委員の一人として、うれしく思う出来事でした。(S)

## 子どもたちがセミ穴の調査に参加



船橋小径の会が毎年実施している「セミ穴調査」。8年目にあたる今年は、青少年船橋地区委員会子どもぶんか村ボランティアくらぶと科学くらぶの子どもたちが参加しました。今回の調査は8月12日～16日まで行いました。初日はあいている全ての穴を数えて目印をつけ、翌日からは新たに増えた数を調べました。敷地内の穴を毎年調べることで、環境や生態の変化を知る助けとなります。調査に参加することで、子どもたちが身近な自然やそれを大切に保存しているまちの人たちの活動を知り、お手伝いすることの喜びや、環境を考えるきっかけにしてくれることを願っています。



を大切に保存しているまちの人たちの活動を知り、お手伝いすることの喜びや、環境を考えるきっかけにしてくれることを願っています。

◀ 草むらや葉陰を注意深く探す子どもたち

## 夏休み、元気にラジオ体操

船橋会のラジオ体操は、コロナ禍のため昨年はやむなく中止しました。今年は検温をし、十分に間隔を空けて船橋小学校校庭で開催。7月21～30日の期間中、のべ2321人が参加しました。

一方、希望ヶ丘団地自治会のラジオ体操は、7月31日～8月9日、事務所前の広場で開催。親子を含めて毎朝50組ほどが参加。皆勤賞、参加賞の景品を少し豪華にし、喜ばれました。



◀ 温は、船橋小学校で保護者が検温



◀ 前で、希望ヶ丘団地自治会事務所

## サミットストア 出店説明会



朝日プリンテック跡地に建設中のサミットストアについて、大規模小売店法に基づく説明会(参加者14名)が9月30日にありました。2階建て、売場面積1561㎡(サミット千歳台店の約1.5倍の広さ)、48台の屋上駐車場、110台の駐輪場を設置。新設予定日は来年4月6日。営業は9時から翌日1時まで。オープン後の交通量の増加は、ピーク時で75台/時と予測。定常騒音は基準値以下ですが、23時以降の来客車両の走行音が基準値を超えると予想しています。付近に大型スーパーがないので歓迎する声と、周辺小売店舗への影響を心配する声が聞こえます。またコーナンPROの交通量増加に加えて、通学時間帯の交通事故に注意する必要があるでしょう。

## 船橋会 防災ウォーク・スタンプラリー開催

船橋会では10月18日～11月3日、町内10か所に設置してある消火用スタンドパイプの位置と消火栓マンホールを確認する防災ウォークを開催しました。スタンドパイプ収納箱に貼られたプレートの文字を専用台紙に記入、11月3日に初期消火訓練の会場に持参された方には参加賞として防災グッズを配布しました。



◀ 専用台紙。スタンドパイプの位置を確認

## 寄稿 団地内公園の清掃を業者委託

船橋4丁目住宅自治会会長 高木 宇之介氏

都営4丁目住宅内にある公園をご存知ですか? 球技が禁止され安心して遊べるためか、午前中は近隣の保育園の子ども達が保育士と遊ぶ心む光景が見られます。午後は小学生の遊び場となり、とても賑やかになります。

この公園の清掃は、毎週日曜日に居住者が交代で行っていますが、高齢化が進み清掃の参加者が減少し、今まで通りの維持・管理が難しくなってきました。そこで、この10月から初めての試みとして、剪定と公園の落ち葉掃きのみを、居住者が清掃する前日の毎週土曜日に業者に委託することにしました。これも高齢化対策の一つと考えております。

コロナ禍が落ち着きましたら、清掃の行き届いた公園で、居住者と子ども達が和気あいあいと交流できるようにしたい、と思っています。



◀ 公園の落ち葉を清掃する委託業者 ▶

## 高齢者を見守る「ふれあい訪問」



民生委員のふれあい訪問は、「区やサービス事業者との関わりがない高齢者の孤立を防ぎ、見守りの促進を図るため、民生委員が訪問をして、担当区域内の高齢者の生活環境について、目視と会話を中心に確認し、民生委員と地域のつながりを深める」ことを主な目的としています。

訪問対象者は令和3年4月1日現在、介護保険を利用していない方で、77、79、81、83歳のひとり暮らし、または高齢者のみの世帯の方です。新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、感染予防を優先し昨年と同様に今年度も訪問はせず、区の案内などをポストに投函させていただきました。お問い合わせは民生委員、または船橋あんしんすこやかセンター(03-3482-3276)まで。

## ぞうきん縫い、エプロンづくりで医療者支援

8月17日(火)、船橋地区会館で、船橋地区社会福祉協議会主催「夏の雑巾作り」が開催されました。町会・自治会からの参加の他、大学生の姿も。感染予防に努めながら、ぞうきん、ふきん、エプロン、442枚を縫いあげました。30名の参加者が、一斉にぞうきんを縫う姿は圧巻でした。

また、8月24日(日)には、日赤奉仕団船橋分団員の指導を受けて、青少年船橋地区委員会子どもぶんか村ボランティアくらぶの子ども達が、使い捨てエプロン作りに取り組みました。いずれも制作物は、医療従事者、介護施設などに配布される予定です。いま、「地域でできること」の模索が続いています。



▲ 手慣れた運針で、作業をする地域の皆さん



▲ 分団員から作り方を学ぶ中学生